

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

初夏におすすめ反物

夏が近づいてくると「小千谷縮」をよく聞きます。

小千谷縮は着物だけでなく、浴衣や長襦袢にまで使われる夏にピッタリの麻織物です。中には国の重要無形文化財に指定された、とても貴重な小千谷縮もあります。

重要無形文化財の指定要件 ①全て苧麻を績みした糸を使用する事

これからの和とくポイント

洗濯が簡単

小千谷縮が夏になると人気があるのは、主に下記の3つの特徴があるからです。

- ①シボがあるため肌に張りつかず、さらりとした着心地
- ②中には国の重要無形文化財に指定されているものもある
- ③麻素材のため自宅で洗濯できる

小千谷縮の特徴「シボ」とは生地凹凸のことを言います。この凹凸が下に着る物との間に空気の層を作ってくれるため、風通しがよくさらりとした着心地になります。

そして麻でできているため、もともと通気性や吸湿性に優れ麻の性質と縮のシボの凹凸が、高温多湿の日本の夏にはもってこいの織物なんです。

麻素材は絹の着物と違い自宅で洗濯できることも特徴の一つです。

- ①畳んだ状態で水で洗う・・・型崩れを防ぐため
- ②洗剤は少なめ・・・色落ちを防ぎすすぎやすくするため
- ③2～3回優しく押し洗い(30秒～1分程度)・・・ちぢみを防ぐため
- ④泡がなくなるまですすぐ・・・洗剤の残りがシミにならないため
- ⑤かるく絞る・・・型崩れを防ぐため
- ⑥着物ハンガーで形を整えながら干す・・・型崩れを防ぐため
- ⑦日陰で裏面で干す事・・・色落ちを防ぐため

上布よりも比較的安価な縮は、小千谷縮の他に新潟県十日町の明石縮(あかしちぢみ)滋賀県の近江縮(おうみちぢみ)も人気です。そして縮の中でも唯一小千谷縮だけが、越後上布とともに1955年に国の重要無形文化財に指定されたことも特徴の一つです。



- ②縞模様を付ける際は、手くびりによる事
- ③いざり機(地機)で織る事
- ④シボとりをする場合は、湯もみ・足ぶみによる事
- ⑤晒し(さらし)は雪ざらしによる事



今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

6月の催事・イベント

- ◎知ットコ講座・・・6月2,3日
- ◎ポーセラーツ教室・・・20日(木)
- ◎米沢展・・・6月28,29,30日

※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>



さくらきもの学院

- ◎たくみの会・・・
- 6月9日「キモノの講座:加賀友禅の職人の技」
- 8月11日「おわら踊り体験」
- ※レッスンのお申込受付ます♪
- ・マンツーマンレッスン:初等科7,300円/6回
- ・1dayレッスン:500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで
◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

